



## 「ありのままに 自分らしく 伸び伸びと」

日向ひまわり支援学校校長

早瀬 公高

11月22日(日)本校の文化祭である「第38回ひむか祭」が学校の体育館を中心に行われました。小学部の2グループ、中学部、高等部の計4グループによるステージ発表は、先生方の色々な工夫や熱心な支援もあり、とてもすばらしく、ご来賓や保護者の皆様に大変喜んでいただきました。本校のめざす児童生徒像である「ありのままに 自分らしく 伸び伸びと」した姿を見ていただくよい機会となりました。

本校では「子ども一人一人の可能性を見つけ、伸ばし、育む教育」を教育目標に掲げ「児童生徒の個性や能力に応じた教育活動を展開し、明るく豊かな心を育み、個々の自立と社会参加の基礎となる力を培う。」ことに、全職員で取り組んでいます。まさにこのことが、本校におけるキャリア教育だと考えています。

## 5年10年先に地域が良くなるために

旭建設、焼酎あくがれ

黒木 繁人

小・中学校で「トイレ掃除に学ぶ」というキャリア研修を会社と学校で協力してやっています。この行動は、気づきが生まれる・心を磨き・謙虚になるという精神の生徒が育ち、必ず地域が良くなるという信念のもとに行っています。掃除後に生徒さんの感想文を読むとほとんどの生徒が「笑顔になった。(トイレ掃除を)やってよかった」という言葉をいただきます。

会社の目的は、世の中を良くし、誰かを幸せにすることです。

いい街とは、大きなビルがあったり、広い道路があったりすることではなく、いい人が住んでいる街です。それは挨拶ができたり、道を聞かれたら丁寧に教えたり、ゴミが落ちていたら進んで拾う人がいる街ではないかと思っています。自分のことしか考えない子供たちを創らないことです。人の嫌がることをすすんで行うことが本当にかっこいいんだよ!と大人が見本を見せることです。

「トイレ掃除に学ぶ」という行動は、5年先10年先に地域が良くなるためのものです。



## 「達成感」そして「充実感」

日向市立細島小学校校長

垣内 正俊

先日、ある企業の21歳の「よのなか先生」に来ていただいて、6年生にインタビュー形式の「よのなか教室」を実施していただきました。その「よのなか先生」から出た言葉が「今、充実感・達成感でいっぱいです。」という言葉でした。仕事について熱く語られる言葉と同時に、その満足そうな笑顔がとても印象的でした。そこで思ったことは、「よのなか先生」の話は、子ども達を指導している教職員や大人が、まず拝聴すべきではないかと言うことでした。働く喜びとその体験を、子ども達に伝え、これから出会うであろう将来の仕事について、知る・見る・体験させることで、近未来の日向を築いていく人材を育成することも我々の原動力としたいと思います。今こそ真の「地方創生」の時代。キャリア教育という強く固い絆で、「達成感・充実感」をさらに拡大していきたいと感じています。

## キャリア教育に思う～広がれよのなか教室～日向の子供たちには5万人ものよのなか先生がいる。

日向市教育委員会教育部長

野別 知孝

平成25年度から取り組んでいる“日向の子供たちの未来づくりプロジェクト・キャリア教育”は、素晴らしい取り組みです。さまざまな職業の働く大人と直に触れ合う「よのなか教室」では、子供たちの職業観や人生観に必ずや何らかのヒントや道標が示されていることと確信しています。

これまでに、100人を超える「よのなか先生」が登録され、日向市内のほとんどの小中高校で「よのなか教室」が行われ延べ7,500人の児童生徒が参加しています。

今後も、この取り組みを推進・拡充していくために、キャリア教育支援センターは「よのなか先生1,000人」の登録を目標に掲げられていますが、必ず達成できます。何せ、日向市の大人の人口は5万人もいるのですから。



## 第10回 よのなか先生研修会のお知らせ

- 日時 2016年2月15日(月) 18時00分～19時00分  
終了後「懇親会」を行う予定です。
- 会場 日向商工会議所 1F多目的ホール

### ■内容

- よのなか先生の事例発表 ならびに 意見交換
- 山本 恵子さん(栄興自動車販売(有))
- 税田 和久さん(グローバル・クリーン(株))

細島小学校

体験活動による郷土愛～記念植樹  
身近な中学生先輩の学習支援に喜ぶ小学生。  
よのなか先生から、マナーや仕事について生の声  
を聞きました。



牧島山から眺める▶  
細島国際工業港

3月10日(火)

植樹を記念して歓声を上げるみなさん。多くの方々の支援と協力に感謝。



「中学生よのなか先生」による  
細島小サマースクール

富島中1・2年生が参加。  
8時30分から11時まで、  
小学生に丁寧に教える。



マナー教室

10月9日(金)

「よのなか先生」の大山由美さん  
によるマナーの勉強。  
子供たちは「あいさつ」「マナー」  
の意味を深く理解した。



◀心のこもったお礼の挨拶

仕事についての話を聞く  
(6年生17名～)

10月28日

旭建設  
松林 瑞樹さん

「今、充実感・達成感でいっぱいです」と  
松林瑞樹さん



(3年生14名～) 11月2日

農業の専門家  
赤木 紀男さん

野菜に関する質問が次々と出る。  
赤木さんは丁寧に答える。

富島中学校

◎昨年度2年生で実施した「よのなか教室」が、  
今年の新2年生でも継承して実施されました。

- ①学校における進路学習(9月～10月)
- ②「よのなか教室」(9月16日)  
「働くということを考える」(よのなか先生1人から講話)
- ③「よのなか教室」(9月29日)  
「職業を知ろう、生き方を知ろう」(よのなか先生10人が、3回づつ講話)
- ④パネルディスカッション(11月12日)  
「働く上で大切なこと」(よのなか先生3人、生徒代表3人が参加)
- ⑤職場体験(11月17・18日)

よのなか教室

9月29日

日向商工会議所地域振興課長 野口洋さんは、  
人を幸せにする感謝の気持ちの作り方、  
地元で活躍する意義について語られた。  
生徒たちは興味深げに話を聞いた。



宝夢塗装社長 黒木満彦さんの  
仕事の話を聞き、塗装実習をした。  
生徒は真剣に筆を握り恐る恐る手を  
動かしながら取り組んだ。

パネルディスカッション

11月12日

堂々と意見を述べる生徒たち。



◎1年生で、「夢の描き方・生き方考える・夢をつくり直す」  
をテーマに、新しい取組がスタートしました。

- ①総合的進路ガイダンス(9月25日)  
(先生方から自身の体験をまじえて講話)
- ②「よのなか教室」(10月2日)  
「夢を追いかけて」(よのなか先生1人から講話)
- ③トイレ掃除に学ぶ会(10月22日、11月12日)  
(旭建設黒木社長の講話と、社員の方々によるトイレ掃除指導)
- ④「高校生・大学生よのなか教室」(12月2日)  
「高校生・大学生の夢(夢のつくり直し)」(富島中出身の高校生4人、大学生1人が参加)

よのなか教室

10月2日

ひゅうがリサイクルセンター  
川崎 修さん  
失敗や挫折から学んだことを  
語ってくれた。



トイレ掃除に  
学ぶ会

10月22日・11月12日

真剣にトイレ掃除に取り組む生徒たち。

「高校生・大学生  
よのなか教室」

12月2日  
高校生と大学生の失敗談や  
夢のつくり直しの話聞いた

